

測定精度向上へ新装置

県工技センター、2台導入

徳島県立工業技術センター(徳島市)は、新設の「電源出力フィルター」と「真円度測定機」を導入した。

電源出力フィルターは、昨年導入した「電磁

両立性(EMC)テストシステム」と組み合わせで使用する。電子機器の電圧変化に対する耐性を測定する際に、不正に入

る電気ノイズを取り除く機器で、従来利用していたフィルターの2倍の電

源容量に対応できる。

真円度測定機は、ヘア

リングをはじめとする円形の精密部品について、理論上の真円との誤差を測定するもので、旧型装置を更新した。検査物の

形状を設計システム(CAD)で描き起こすリバーソフトも導入した。

購入価格は計1170万円。財団法人JKA(東京)の補助金約780万円を受けた。

工技センターは利用を受け付けており、電源出力フィルターの利用料は

EMCテストシステムの利用料に含まれる。真円度測定機は1時間840円、リバーソフトは同

1160円。申し込みは同センター(電088

(635)7901)。

(湯浅翔子)